

○東京藝術大学リサーチ・アシスタント実施要項

〔平成8年9月12日〕
学 長 裁 定

改正 平成16年4月1日 平成20年11月19日
平成21年3月30日 平成22年9月1日
平成25年3月28日 平成25年10月24日
平成27年3月26日

(目的)

第1条 この要項は、本学の学術研究の一層の推進に資する研究支援体制の充実・強化並びに若手研究者の養成・確保を促進するため、本学が行う研究プロジェクト等に優れた大学院博士後期課程在学者を研究補助者として参画させ、研究活動の効果的推進、研究体制の充実及び若手研究者としての研究遂行能力の育成を図ることを目的として、必要な事項を定めるものとする。

(名称)

第2条 前条の研究プロジェクト等に研究補助者として参画する学生の名称は、リサーチ・アシスタント（以下「RA」という。）とする。

(委嘱内容)

第3条 RAの委嘱内容は、本学が行う研究プロジェクト等を効果的に推進するため、研究補助者として従事し、当該研究活動に必要な補助的業務を行う。

(資格)

第4条 RAとなることのできる者は、本学大学院博士後期課程の学生として当該研究プロジェクト等を推進するために研究プロジェクト等の研究代表者より推薦された者とする。

(選考)

第5条 RAの選考は、研究プロジェクト等の研究代表者及びリサーチ・アシスタント受入教員により推薦された者について、研究科委員会の審議を経て、研究科長が行うものとする。

(選考基準)

第6条 研究科委員会は、RAとして推薦される学生について当該学生の研究、授業等に支障が生じないように配慮して次に掲げる基準により、選考を行うものとする。

(1) 研究者となる意欲と優れた能力を有すること

(2) 研究プロジェクト等に従事することにより、研究活動の充実が期待されるものであること

2 前項に掲げるもののほか、各研究科において必要な基準は別に定めることができる。

(委嘱期間)

第7条 RAの委嘱期間は、当該会計年度を超えない範囲内とする。

(委嘱手続及び手当等)

第8条 RAの委嘱手続及び手当等については、別に定めるものとする。

(終了報告)

第9条 研究補助業務を終了したRAは、研究補助業務を担当した事により得ら

れた成果を、研究代表者を通じて研究科長に報告するものとする。

(その他)

第10条 この要項に定めるもののほか、RAの実施に関して必要な事項は、各研究科において定めるものとする。

附 則

この要項は、平成8年9月12日から施行し、平成8年9月1日から適用する。

附 則

この要項は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成20年11月19日から施行する。

附 則

この要項は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成22年9月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成25年10月24日から施行し、平成25年7月18日から適用する。

附 則

この要項は、平成27年4月1日から施行する。

(別紙様式1)

(元号) 年 月 日

リサーチ・アシスタント推薦書

研究プロジェクト等の名称	
中心組織名称	
研究代表者氏名	
RA受入教員氏名	
研究の概要	
補助業務の内容	
採用期間	(元号) 年 月 日 ~ (元号) 年 月 日
勤務時間	週 時間 × 週/延 時間
大学院生氏名(性別)	(男・女)
生年月日(年齢)	(元号) 年 月 日 (歳)
専攻名	
課程の教育において指導を受けている主たる教員氏名	(主任指導教員)
日本学術振興会特別研究員の経験の有無	有・無 (有の場合 年 月~ 年 月)
その他	

- (注) 1. 研究プロジェクト等のメンバー表を別添で添付すること
2. RAとは、リサーチ・アシスタントを示す。
3. 「研究の概要」欄は、大学院生がRAとして従事する研究プロジェクト等の具体的な内容について、簡明に記入すること
4. 「補助業務の内容」欄は、大学院生がRAとして行う補助業務の具体的な内容について、簡明に記入すること
5. 「その他」欄は、採用予定の大学院生に対する各種支援の状況(授業料の減免状況、育英奨学金の貸与状況等)及びティーチング・アシスタント申請の有無と時間数について簡明に記入すること
6. 「推薦理由」欄は、RA受入教員が記入すること
7. 履歴書を添付すること
8. 外国籍の者(特別永住者を除く)は、外国人登録証明書の写しを添付すること

推薦理由

上記の者は、リサーチ・アシスタントとして適任であると認められるので、推薦します。

研究科長 殿

RA受入教員・氏名 印

研究代表者・氏名 印

(別紙様式2)

(元号) 年 月 日

リサーチ・アシスタント成果報告書

研究科名		専攻名		学生番号	
氏名				印	男・女
生年月日	(元号) 年 月 日 (歳)				
研究プロジェクト等の名称					
担当週時間数	時間		年間担当時間数	時間	
採用期間	(元号) 年 月 日 ~ (元号) 年 月 日				
研究補助業務内容 (具体的に)					
担当により得られた研究効果 (具体的に)					
備考					
RA受入教員・氏名 _____ 印					
研究代表者・氏名 _____ 印					

(注) 意見等があれば備考欄に記入すること

(別紙様式3)

(元号) 年度リサーチ・アシスタント実績報告書

研究科

氏名	雇用期間	担当時間総数	支給金額	備考
	(元号) 年 月 日 ～ (元号) 年 月 日	時間	千円	
	(元号) 年 月 日 ～ (元号) 年 月 日	時間	千円	
	(元号) 年 月 日 ～ (元号) 年 月 日	時間	千円	
	(元号) 年 月 日 ～ (元号) 年 月 日	時間	千円	
	(元号) 年 月 日 ～ (元号) 年 月 日	時間	千円	
	(元号) 年 月 日 ～ (元号) 年 月 日	時間	千円	
	(元号) 年 月 日 ～ (元号) 年 月 日	時間	千円	

(注) リサーチ・アシスタント制度により得られた成果の概要(様式適宜)を、添付すること。